



当院は開院30周年を記念し、テレビや著書などで高名な諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實 先生をお迎えし、地域の皆様も対象とした特別講演会を開催しました。鎌田 實 先生の登場で、会場内は熱気に包まれました！！

著書：「がんばらない」「あきらめない」など



医療法人 敬徳会 藤原記念病院の理念と基本方針

私たちは設立の動機である『地域のための医療』を理念とし、次の事項を基本方針といたします。

基本方針

1. 良質な医療提供に関する事項

患者さま本位の医療と良質な医療を提供することを念頭に、救急病院として急性期医療から慢性期医療までを担う病院。また、地域の福祉施設、訪問看護ステーション、自治体などと連携し患者さまに最適な療養環境の提供を目指します。

2. 患者さまに対する職員の対応に関する事項

笑顔をもっととし、常に患者さまの立場に立ち、患者さま中心の精神を持って行動します。

3. 患者さまの権利の尊重に関する事項

患者さまの権利章典を制定し、常に患者さまの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた『共同的な営み』として医療を行います。

4. 職員の就業に関する事項

私たちはプロ意識を持ち、常に自己研鑽に励み、新しい知識と技能の習得に努めます。





院長 白山公幸

プライマリ・ヘルスケア(Primary Health Care)

実践的で、科学的に有効で、社会に受容されうる手段と技術に基づいた、欠くことのできない医療・福祉の事。国家の保健・医療システムの中心的機能と主要な部分を構成するが、地域社会全体の社会経済開発の一部でもある。プライマリ・ヘルスケアは、国家の保健・医療システムと個人、家族、地域社会とが最初に接するレベルであって、人々が生活し労働する場所になるべく接近して保健・医療サービスを提供する、継続的な保健・医療活動の過程の第一段階を構成する。

—アルマ・アタ宣言* (1978年) 第六条より一部改変—

アルマ・アタ宣言で明確にされたプライマリ・ヘルスケアの概念が、世界の医療・保健の目標として掲げられたまさにその年「地域のための医療」を基本理念として、当院は設立されました。特定医療法人敬徳会のたどった軌跡を振り返ると、プライマリ・ヘルスケアを当地域で着実に実現してきた足跡が明らかになり、地元で医療や福祉サービスを受けられる体制を作り上げた事により、地域住民の生活の安心感向上に多少なりとも貢献できたのではないかと考えております。

1978年4月5日。当時、無医町であった旧天王町の要請を受け、故藤原慶之前理事長が、職員数20数名、病床数52床で開設した、個人病院である藤原病院から当院の歴史は始まりました。翌年、医療法人敬徳会が設立され、病院の名称も藤原記念病院となり、その後昭和58年には病床数も140床に増設されました。

その後も地域の、医療に対するニーズに答えるべく、平成2年には人工透析を開始し、救急指定病院告示により救急医療にも参画しました。これにより、私的病院ではありながら、公的病院と同様の役割を果たすことが可能になりました。

平成12年に地域の医療施設や、福祉施設とのより強固な連携を図るため、地域医療連携室を発足し、翌平成13年には院内の安全管理や情報一元化を図るためイントラネット、オーダリングシステムを導入、更には外来でのプライバシー保護のため平成16年に外来改修工事を完工し診察室を個室化しました。

また、地域住民が適切で質の高い医療を安心して享受でき、医療の質の一層の向上を図るために、医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価する(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Version 5.0) を平成17年12月に受審し平成19年1月22日付けで認定されており、病院機能を向上させるため、たゆまぬ努力を続けております。

平成20年4月電子カルテを導入して患者さん個人の医療情報一元化を図り、看護支援システムによる安全性の確保への取り組みを始めました。

このように、日々の診療の積み重ねや組織システムの改変を行いながら30年の歳月を数えました。一貫して、地域医療への貢献を理念に当地域の医療、福祉、保健の要となるよう、努力してまいりましたが、その任を十分に果たせたかどうかは分かりません。

この地で、継続して医療を行う事こそが、我々の最大の使命であり目標であります。

医師の偏在化による医師不足は、当院においても深刻な問題ではありますが、当院常勤医の努力のみならず、秋田大学医学部附属病院、秋田組合総合病院、秋田赤十字病院など様々な医療機関からのご協力をいただきながら、地域の医師会、福祉施設、行政との更なる連携により、微力ではありますが地域住民に対して質の高い、継ぎ目の無い医療の提供をこれからも続けていきたいと考えております。

*アルマ・アタ宣言は、1978年9月、「すべての人々に健康を」目標達成の鍵としてWHO、UNICEF主催による旧ソビエト連邦、アルマ・アタで開催された第一回プライマリ・ケアに関する国際会議で採択された宣言文である。プライマリ・ヘルスケアの大切さを明確に示した最初の国際宣言として位置づけられている。



ウォーキング

いまウォーキングが熱い!!健康の維持、増進に役立つ手段として人気急上昇中です。いつでもでき、無理せず自分のペースでできることが、その人気の源と考えられます。

現代人って1日何歩歩いているの？

かつて人間は1日3万歩歩いていたといわれます。1歩を約50cmと計算すると、約15kmを歩いていたということです。それが交通手段の発達した現代では1日1万歩も歩いていないといわれています。生活環境や職業などで大きく差があるといえますが、日常生活で意識することで歩数は増えます。エレベータを使わずに階段を使う、電車移動の際に1駅前で降りるなど意識するとあらゆる場面で歩く機会をつくれます。まずは1日何歩歩いているのかを知り、1日の歩数目標を立て、無理せず歩くことから始めましょう。

ウォーキング効果

ウォーキングは、姿勢や歩幅、スピードなどを意識して継続することで次のような効果が得られるといわれています。

- 1.筋力を強くし、心肺の機能を高める
- 2.血行が良くなり、全身への栄養や酸素の供給がスムーズになる
- 3.脳神経細胞の活性を高める
- 4.生活習慣病の予防や治療効果が期待できる

ウォーキングポイント

- ・起床直後は避ける
- ・踵(かかと)から着地するよう意識して歩行する
- ・下半身全体を使ってダイナミックに歩く
- ・準備運動と整理運動を必ず行う(ストレッチやマッサージ)
- ・履きなれた運動靴で行う

最後に…

ウォーキングで最も重要なことは“楽しんで歩くこと!!”です。風や草花に季節を感じたり、普段ただその道を通るだけでは気付かないような、何気ない景観に何か新しい発見を見つけたり、楽しんで歩くネタは尽きません。ただし、決して無理はしないでくださいね!

各部門紹介コーナー

今回は 医療技術部『リハビリテーション科』の紹介です

リハビリテーション科概要

リハビリテーション科では当院が掲げる「地域のための医療」の理念に沿って、急性期から維持期・在宅までと地域の方々のニーズに応えるべく幅広くリハサービスの提供をさせていただいております。

<リハビリの対象>

整形外科疾患・脳血管障害・入院療養中の廃用症候群・スポーツ障害
在宅訪問など

施設基準：運動器リハ（Ⅰ） 脳血管リハ（Ⅱ）

スタッフ：医師1名 理学療法士2名 作業療法士4名

リハビリテーション科アピール

当科では患者さまが安心してリハビリを受けられるように、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーとのカンファレンスを実施し、それを踏まえての説明と同意を得ながら計画的にリハビリが行われるよう努めております。また必要に応じて他病院や施設、在宅介護支援センター等との連携を図っていくよう活動しています。一昨年前に石澤先生が当院に来てからはスポーツ障害関連のリハビリにも力を入れており、まさに子供から高齢者まで、急性期から維持期・在宅までのリハビリの提供が可能です。

<リハビリテーション科 見上 豊>



スタッフから一言

3H：head(知識)、hand(技術)、heart(心)で対応するよう努めています。

在宅生活を援助するために、利用者様のリハビリや家族の方の相談にも対応し訪問リハビリを行っています。

患者様が生活しやすいよう、日常生活動作の練習や指導も行います。

投球障害の分析と治療および予防を行っています。





整形外科
副院長 石澤暢浩 医師

野球少年とそのお父さん、お母さん、指導者に一言

スポーツのなかでも野球ほど幅広い年齢層に受け入れられているものはないでしょう。野球をやる人も、やらない人も夢中になってプロ野球の観戦を楽しんでいます。私たちの小さかった頃は、勿論スポ少なんてものは無く、友達同士が自然に集まって、10人にもなれば足りないなりに野球をやっていました。指導者なんているわけも無く、野球をしばらく楽しんだ後は、相撲をやったり、缶蹴りやドジョウとり、カブトムシなどを採って走りまわっていました。

我々が小学校の頃は肘や肩など痛がる子供は一人もいませんでした。当時は野球をやるにしても勝ち負けより、ホームランヒットを打った時の喜び、三振をとった時の爽快感、連携プレーがうまくいった時の感動がなによりの楽しみでした。おおざっぱなルールでみんなが野球を楽しんでいました。

さて、多くの野球少年たちが、私の外来に診察に訪れます。肩の痛い子、肘の痛い子、腰の痛い子さまざまです。ふと自分の小学校時代を振り返ると、こんなに体を痛がる子がいたのだろうか？と考えてしまいます。そういえば野球ができる人数が集まるのはせいぜい週2か週3でした。しかも5時には自宅に帰らないと母親たちが怖い顔をして待っている状態でした。今の小学生の野球の練習はどうなっているのでしょうか。ほとんど毎日が2時間以上の練習に当てられ、試合が近づくとさらに練習量がふえます。一度スポ少に入ると野球以外のスポーツは皆無の状態です。毎日毎日、投球動作を繰り返すことになります。投球動作は簡単に言えば、飛行機の離着陸を繰り返すことに似ています。一回の投球動作で肩には自分の体重と同じ力がかかるのです。つまりボールを投げ終わった瞬間に時速90km近い速さになった腕をわずか0.1秒の間に時速0kmにしなければならないのです。投球動作を繰り返すうちに肩や肘に障害がでるのは当然と言えましょう。

さらに、小学生の成長期には身長が伸びてきます。このことが、障害を起こす大きな原因の1つです。つまり骨の成長に筋肉の成長が追いつかないために体の関節が硬くなります。当然、投球動作は不自然なものとなり、股関節や骨盤の動きの悪い部分を肩、肘で代償しなければなりません。私の外来を訪れる多くの野球少年は股関節の動きに制限があり、それに伴う肩、肘の動きの制限もみられます。

私たちは子供たちの投球フォームを動画撮影し、コマ送りして悪いところをチェックして投球フォームの矯正をおこなっています。動画を解析することでその子、その子の悪いところが一目でわかります。リハビリで悪い部分を重点的に矯正、指導しています。自宅でのストレッチも充分に行うことも必要です。

練習前には十分なストレッチを行い、体を疲れさせないことが重要です。いまの野球少年たちにはあまりにも試合数が多すぎます。またご両親、指導者たちもあまりに勝敗にこだわってるように見受けられます。小学生時代はスポーツの楽しさを身につけるべきであり、技術や勝敗などは二の次です。もっと大きな気持ちでゆったりと野球を楽しんでは如何でしょうか？

潟上市乳がん検診・骨粗鬆症検診について

本年度も潟上市検診を当院で実施しております。6月からすでに開始していますが、11月30日まで行っています。乳がんは早期発見・早期治療で治る可能性が高い病気です。ぜひこの機会に検診を受けてみませんか。

実施期間 6月1日～11月30日まで 9時～12時(外科外来)

対象 潟上市民のみとなります。
乳がん検診/40歳以上の女性 骨粗鬆症検診/30歳～64歳までの女性
注) 上記の年齢は満年齢です。

負担金額 乳がん検診・・・1,000円 骨粗鬆症検診・・・800円
注) 生活保護・非課税世帯で、それらを証明するものを持参した方からは徴収していません。

受付方法 事前の予約は必要ありません。直接受付窓口にお話し下さい。



30年のあゆみ



名誉総婦長
三浦トク

昭和53年4月5日藤原病院が（現在藤原記念病院）開院されて早30年の歳月が過ぎました。

故前理事長藤原慶之先生は「住民のための病院、安全で安心して治療の出来る病院」又看護部では「よい看護はよいチームワークから」をモットーに今日まで頑張ってきました。

このたび30周年を迎えることが出来たのは、住民の皆様のご理解と各医療機関のご協力があったの事と感謝しております。

30年間を振り返り、刻々と変化する医療情勢に、院長はじめ職員一同一丸となって、病院の理念を心に刻み頑張ってきました。

病院の増改築、ベット数の増床、歯科診療所、又地域医療の向上に今は亡き前理事長藤原先生が老人福祉医療に力を注がれ、昭和62年には福祉施設を開設されました、その後平成2年には人工透析を開始し、透析治療をされる患者様からは、とても喜ばれました。

平成6年には患者様が環境のよい所で療養できるようにと、第二次増改築が始まりました。私は現在でも誇りに思っているのは五階に設置されている四方がガラス張りで二つの浴槽には常にお湯が満たされ、患者様が自然の景色を眺めながら温泉気分に入浴を楽しめることです、これらも前理事長の患者様への心配りと思っています。

当時入院される患者様の年齢制限があり、男女共70歳以上の方は全病床の6割以上は入院させられない為、とても苦難した時代がありまして日々悩まされ基準看護導入に踏み切りました、幸いにして、平成5年3月に承認され平成7年には新看護3：1、翌8年には2.5：1、看護基準制度も変わり現在は10：1で運営されています。

又基準看護導入と共に知識向上のため、県内外に研修や、学会への参加で目まぐるしく忙しかったけれど充実していたような気がします。

そんな中、前理事長が病魔に襲われ快復されることなく、平成8年11月13日この世を去られました、職員一同深い悲しみと悔しさでいっぱいでした。

開院以来住民の健康を第一に心配され日夜休むことなく地域医療に貢献された先生の業績は、誰もが忘れることはできません。

平成19年には医療機能評価病院に認定されました、医療や科学技術の進歩と共に又高齢化により複数の病気を抱えている患者様が多く、看護を取り巻く環境も大きく変化してきました、看護部では専門職としてよりレベルの高い看護実践を職業へのモチベーションに通じるようにと、試行錯誤しながら学習や研修に力を入れ、患者様に最善の看護を提供できるよう頑張っています。

平成20年には電子カルテを導入し、業務の見直し、医療事故防止、時間短縮等を目指し進行中です。私達は人間が人間に対して人間として看護する責務があることを忘れず、これからも、地域の方々に喜ばれ親しまれる病院になるよう努力していきます。

藤原記念病院年表

昭和53年 4月 5日 「藤原病院」を当地に開設	平成 9年 3月 病院増改築事業 完工
開設者(病院長)藤原慶之 許可病床数52床	平成13年 4月 売店設置
12月25日 52床から103床に増床	7月 イントラネット整備、オーダーリングシステム導入
昭和53年11月 1日 藤原病院を廃止「藤原記念病院」開設	8月 自動受付機、自動精算機導入
昭和54年10月 1日 医療法人社団「敬徳会」設立	外来事務室、受付、医局改修
昭和58年 3月 病床数を現在の140床に増床	12月 耳鼻科専門診察室増設、外来トイレ増設
平成 2年 2月 現在の外来棟、給食棟完成	平成14年 8月 白山公幸院長就任
4月 人工透析開始	平成16年 4月 外来棟改修 診察室の個室化
平成 8年 4月 白鳥常男先生 敬徳会会長就任	5月 外来待合室にプラズマビジョン設置
藤原慶之理事長秋田県医師会長就任	平成17年 7月 全館禁煙、敷地内に喫煙所を設置
新病棟完成 病院附属保育所開設	平成18年 6月 防犯カメラ7ヶ所に設置
平成 8年 9月 出戸診療所・天王訪問看護ステーション開設	平成19年 1月 日本医療機能評価機構の病院機能評価(Version5.0)
平成 8年11月13日 設立者 藤原慶之理事長逝去	認定
平成 8年12月 藤原雅子理事長就任	平成20年 4月 電子カルテシステム・看護管理システムほか稼動開始
放射線科MRI、ヘリカルCT稼動開始	

診察のご案内

- 外来診療：平日／9：00～17：00
土曜／9：00～12：00
- 休診日：日曜日・祝祭日・盆休（8月13日）
年末年始（12月31日～1月3日）
- 診療科案内：内科・外科・小児科・整形外科・リハビリテーション科・
泌尿器科・胃腸科・肛門科・循環器科・呼吸器科・
アレルギー科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・
放射線科
- 人間ドック：随時受け付けています。



Fujiwara Memorial Hospital

藤原記念病院

〒010-0201 潟上市天王字上江川47

TEL 018-878-3131 FAX 018-878-7234

URL <http://www13.ocn.ne.jp/~keitoku/>

編集後記

約2年振りの発行となってしまいました事を初めに深くお詫び申し上げます。今後は定期的にフレッシュな話題を皆様にお届け出来る様、編集部一丸となり頑張りますので、末永くご愛読頂けますよう、宜しくお願い致します。

さて、当院では平成20年4月より新たに医療情報システムを導入し、現在、入院においては電子カルテが順調に稼働しております。システム導入目的の一つに“医療行為の安全性を高める”といった目的がありました。システムを導入した現在、確かな手応えを感じております。直接目に見えるものではございませんが、患者様に対して万全の環境で良質な医療を提供出来る様、これからも取り組んでまいります。

P.S. システム導入には、なつめ編集部員も深く関わっていました（休刊していた言い訳・・・）

特選！受付のお花 いつも患者様にご好評頂いている受付の花を特選し、紹介します。

ラクスペアは、英語で「ヒバリの爪爪」の意味です。花に「距」と呼ばれる突起があることから名付けられました。

ラクスペアはその色によって花言葉が違います、例えば桃色の花言葉は、陽気
コーラスローズ色の花言葉は、元気ハツラツ、ブルースプレー色の花言葉は、軽やかさなどです。

ラクスペアにまつわるプチ・ギリシャ神話

トロイ戦争で活躍したサラミスの王テラモンの息子、アイアスのお話です。アイアスはギリシャ軍の先頭に立ち、トロイ軍と戦った。アイアスの身体は大きく、常に堂々としていたので、ホメロスは彼のことを「ギリシャ人の砦」と称えたという。

アイアスは、褒美にアキレウスの遺品である鎧が欲しいと望んだが、与えてもらえなかった。アイアスは激怒してギリシャの指導者達を殺そうとした。そのためアイアスは、女神アテナによって罰を下され、半狂乱となり、自らの剣で自殺した。

その時流れ出たアイアスの血から、ラクスペアの花が咲いた。その花びらに、Ai Aiという文字が現れた。それはアイアスのイニシャルであったが、ギリシャ語で「悲しい」という意味でもあった。



学名

Consolida ambigua

分類：キンポウゲ科

●別名：千鳥草・飛燕草
大飛燕草

●ラクスペア全般の花言葉

：私の心を読んでください
信頼・軽快

なつめの由来



花自体は小さくてあまり目立たないなつめ。実は利尿作用や滋養強壯の薬として使われたり、食用として食べたりと用途は様々で、とても重宝されております。決して大きい病院ではありませんが、当院も地域の皆様に重宝されるような病院を目指しなつめと名付けました。(なつめの花言葉『健康の果実』)